

【委員】

	所属	1 連絡会議の検討結果及び第2次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想	2 所属団体での健康づくりに関する取組内容や課題について
1	長岡歯科医師会	<p>・重点取り組みの評価【様式1】中、23ページからの「高齢期(からだ)」の項目に、「歯周病検診(70歳)」と「後期高齢者歯科健診(75歳、80歳)」の項目を追加してほしい。(青年期と壮年期については、それぞれの年代の歯周病検診の項目が掲載してある。)</p> <p>⇒(回答) 第3次計画においては、「歯・口腔の健康」分野の目標・指標として、「歯周疾患検診受診率」および「後期高齢者歯科健診受診率」を確認します。意見にある、70歳、75歳、80歳も含み評価します。</p>	<p>・歯と口の健康週間(6月)に開催する「歯と食の健口ひろば」や、秋に開催している「すこやかとしびまつり」に参加し、オーラルフレイルの予防や、口腔ケアに対する意識啓発に努めている。</p> <p>・医師会との共催により「糖尿病を知るつどい」を開催し、歯周病予防が他の疾患の予防にも重要な要素であることを周知している。</p> <p>・長岡市からの受託事業である「歯周病検診」や「後期高齢者歯科健診」による成人の歯科疾患の早期発見や、「妊婦歯科健診」をはじめとした母子保健事業による、幼少期からの歯科疾患予防に努めている。</p>
2	長岡市薬剤師会		<p>・10/1に健康増進課と共催でウェルネス事業「薬と健康のイベント」を開催。普段健康に興味・関心のない世代や、青壮年期の生活習慣病、女性の健康支援を軸に市民の健康づくりを推進し、市民の健康寿命の延伸を図ることを目的とし開催。</p>
3	新潟県学校保健 会長岡支部	<p>・学童思春期(からだ食生活) 「朝食や夕食を家族と一緒に食べる」ことについては、子どもたちの習い事や保護者の仕事の状況による場合もあり、学校の働きかけて改善できることは少ないと感じる。 孤食であっても、栄養のバランス、食事のマナー、よく噛んでおいしく食べることなどの食育を子どもたちへしっかりとしていきたいと思う。</p>	<p>【取組の内容】</p> <p>・スクールソーシャルワーカーをお招きし、子どものSOSへの対応について講演会を実施</p> <p>【課題】</p> <p>・心の問題、生活習慣の乱れ、SNS利用の問題、食物アレルギー対応等、課題が多い。</p>

	所属	1 連絡会議の検討結果及び第2次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想	2 所属団体での健康づくりに関する取組内容や課題について
4	長岡商工会議所	<p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルシープラン 21 策定時と比較すると、人口減・働く世代の減・高齢者の増が顕著であると感じた。 ・こころの相談会利用者の7割が青壮年期であることに危機感を感じた。(様式 2、P19 事業 No.85) <p>【質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式 2 P19 事業 No.99 健康診査事業について、若い世代や現役世代でも受診しやすいように改善した結果、受診者数は前年対比で変化があったか。 <p>⇒(回答)</p> <p>土日の健診は以前から継続して実施していること、若い世代・現役世代では人口減少により対象者数自体が減少しており、これに伴い受診者数も減少していることから、受診者数ではなく受診率の変化で回答します。19～39 歳では、近年の受診率は9%前後で推移しており、令和4年度 9.2%に対し令和5年度は 9.1%でした。40～64 歳では、受診率は年々伸びており、令和4年度 30.4%に対し令和5年度は 31.2%でした。土日実施のほか、市の実施する集団健診では女性限定デーや保育サービスの実施など受診しやすい環境を整えており、全体の受診率は徐々に伸びています。</p>	<p>【企業向け】 健康経営セミナーを2回開催。</p> <p><1 回目></p> <p>6/25 健康経営セミナーPart1「このままでいいの?生活習慣病」 講師:長岡西病院 内科部長 福居和人氏</p> <p><2 回目></p> <p>10/22 健康経営セミナーPart2「自立神経を整えて元気な毎日」 講師:健康運動指導士・心理カウンセラー 高橋美恵氏</p> <p>【当所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康経営優良法人 2025 の認定申請書を提出。 ②職員の健康づくりを推進 <ul style="list-style-type: none"> 1)腹八分目運動 2)野菜摂取 3)スキマ時間運動・ながら運動

	所属	1 連絡会議の検討結果及び第2次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想	2 所属団体での健康づくりに関する取組内容や課題について
5	長岡市社会福祉協議会	<p>健康づくりに関する多くの事業を行っていると思う。</p> <p>当会行っている事業も同様であるが、どのように関心をもってもらうかが課題であると思う。</p>	<p>①住民参加型在宅福祉活動(ボランティア現行、ふれあい型食事サービス事業、小地域ネットワーク活動、福祉送迎サービス事業、ふれあい・いきいきサロン活動)を推進している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の地域活動参加、社会参加と交流の機会になっている。 ・ボランティアの高齢化と減少が課題となっている。 <p>②ボランティア養成講座、ボランティア活動の啓発・相談、ボランティア団体の活動支援等を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動参加、社会参加と交流の機会になっている。 <p>③生活の困りごとについて、相談支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困りごとについて話をする、聞いてもらうことで相談者のメンタルヘルスに繋がっている。
6	新潟県栄養士会 長岡支部	<p>非常によく努力されて、細部まで配慮が行き届いていると感じる。</p> <p>栄養担当分野は下記のとおりである。概ね予定通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかキャンパスで開催した「すこやかともしびまつり」において子どもを対象に腸内環境と栄養バランスについてクイズを開催し、512人の参加があり盛況であった。 ・CKDにおいて予定通り栄養指導を行っており、来年の結果を期待したい。 ・多職種交流会においても研修会の参加、講演等積極的に行っており、順調である。 ・栄養士会の実施する活動に参加した方にポイントを付与するなど褒章の投入も良いのではないかと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後高齢者の増加とそれに伴うCKDの人口率による増加が懸念される中、継続は必至であり、さらなる予防的栄養指導強化が必要である。また、減塩に対する食事のとり方、レシピ工夫も踏まえ、生活状態に密着した栄養指導が必要であると感じた。 ・予防対策において、壮年層の栄養管理状態が稀薄なため企業団体への啓蒙も含め、具体策を打ち出し、行き届いた栄養指導が必要である。

	所属	1 連絡会議の検討結果及び第2次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想	2 所属団体での健康づくりに関する取組内容や課題について
7	長岡市スポーツ協会	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会では、長岡市スポーツ推進計画を基に子どもの体力や運動能力向上のために親子運動遊びや幼児期の運動遊び、成人層への健康体力づくり講座などの開催、普及、推進団体や人材の育成に重点を置いている。効果的な事業推進には各地域のコミュニティ、スポーツ推進委員等との連携が大事だと思うが、市のコミュニティ事業へのスポーツ推進方策や仕組みが不透明。もっと全体が連携した方が、無駄が少なく良いと思う。 ・外遊び、親子遊びなど幼少期の運動経験が少ないことで子どもたちの認知機能の発達の低下(他人との距離を感じにくい共感力の低下、力加減ができない、じっとしていれない、姿勢を保っておけないなど)が全国的に課題と聞く。小学校(小1ギャップ)に上がる前に家庭、地域、学校で子どもの身体運動遊びに着目した対策を講じる必要があると思う。 ・ヘルシープラン 21 の会議やグループワークで出る良いアイデア、意見などを実現に向けて検討し、行政各課をまたいで事業をコーディネートできる人や仕組みがあると良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、幼児～高齢者までの各種運動・スポーツ推進事業(きっかけづくりから志向やレベルに応じた継続の機会・場づくり)を実施していく。 ・主要体育施設だけでなく、各地域コミュニティと連携した参加しやすい範囲でのきめの細かい事業展開が必要。 ・健康づくりは個人一人でも進めていくことは可能だが、きっかけづくりや継続のための機会や場を効果的につくるには正しい方法や知識を広め、仲間を集めるささえる・広める指導人材や専門家組織の育成と協働が不可欠で重要だと考えている。 ・これらの人材や組織の持続的な活動には無償ボラではなく適正な指導報酬や組織運営費が必要なため、ある程度の受益者負担を市民に理解いただき地域コミュニティで事業展開できると良いと思う。 ・市の事業補助金が毎年削減になる中で、健康づくり推進のための各種事業費や人材費を確保していくためにも、適正な参加料の徴収、そして、地域コミュニティのみならず企業等、新たな市場や見込み顧客に対してアプローチを実施し、健康づくりをサービスとして売り込んでいく営業活動的な普及推進活動を行う必要があると考えている。

	所属	1 連絡会議の検討結果及び第2次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想	2 所属団体での健康づくりに関する取組内容や課題について
8	長岡市食生活改善推進委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・食や健康に関する取り組みが、多岐にわたっていることが良く分かった。素晴らしい取り組みがたくさんある。 ・各団体が単独で取り組むだけでなく、いくつかの団体が一緒になって取り組むことも良いのではないかと思う。例えば、食+運動、食+企業、学校+農林水産業者など。 ・スーパーでの給食メニューの総菜販売は、とても良い企画。今後も続けてほしい。また、一人暮らしの方のために、1人分の少量パックの総菜も販売してはどうか。 ・市民がどこまでこのプランを認識・意識して生活しているか疑問。基本理念や取り組み紹介など、もっとPRして、市民が主体的に取り組む雰囲気を作っていけないものかと思った。 	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市委託事業・食育推進料理教室「地球にも人にもやさしい減塩エコ料理」(11地域で実施) 食品ロスに関する講話と廃棄の少ない調理を実施 ・生涯骨太クッキング事業(栃尾地域) ・おやこ食育教室(寺泊地域) ・すこやかともしびまつり参加「適塩みそ玉作り体験」「食品に含まれる塩分の資料展示」等 ・食生活改善推進委員養成講座への協力・食推対象の食に関する全体研修会(長岡市2回、長岡地区連絡会1回) ※長岡市実施の2回目は、食推以外の市民も参加可能 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座への参加者集めに苦労することが多い ・男性や働き世代の講座への参加が殆どなく、健康的な食について伝えられない ・食推会員数の減少(若い世代の加入が少ない)
9	長岡市母子保健推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・親子サークルが減少してきている中で母子保健推進員の地区活動が今後も大切な活動になってくると思う。 ・それぞれの団体でそれぞれの立場で活動を行うことは大切であるが、互いに協力できることがあれば協力しあいながら活動をしていくことも時には必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年開催している「パパママ赤ちゃんのつどい」に新しく、妊婦とそのパートナーに参加を呼びかけて、助産師に講師を依頼。`妊娠中からできる簡単マッサージ、`禁酒・禁煙の必要性について、等の講座を実施。参加者からは「妊娠中に行えるマッサージを知ることができた」「喫煙が妊婦や胎児に良くないことを改めて知った」といった声があり、今後の活動の方向性に直結するような感想がもられたと思う。参加者をいかに増やしていくかが引き続き課題だと思っている(母子保健推進員と妊婦との接点がない為)。

	所属	1 連絡会議の検討結果及び第2次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想	2 所属団体での健康づくりに関する取組内容や課題について
10	長岡市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の単位老人クラブ会長の隣人で、仕事を定年退職し、一日中自宅に籠っている方がおられた。単位老人クラブ会長が勧誘し、グラウンドゴルフに参加したところ、楽しかったため積極的に参加してくれるようになった例があった。 ・単位老人クラブが解散し、日々の楽しみが無くなったので、何とかならないかという問い合わせがあった。 ・【社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上】において老人クラブの活動は社会とのつながり、こころの健康の維持に必要なだと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も、長岡市の各支部及び長岡市老連では高齢者のスポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会、ゲートボール大会、パタンク大会、健康マージャン大会等の活動を行っている。90歳以上の方も大会に参加される。大会の前には各クラブで練習を行い、クラブによっては毎週練習しているクラブもある。活動を通じて体を動かし、健康づくりに取り組んでいる。長岡支部の女性会員研修会では長岡市より講師を招き足腰元気講座で参加者に体操を行ってもらった。 ・老人クラブ連合会は年々高齢化による会員減少、また会長のなり手が無いとの理由でクラブが解散し、会員数、クラブ数が減少している。現在60代後半、70代の新規会員を増やし活動を継続することが大きな課題。孤独で日々テレビと向かい合っている高齢者も多く、老人クラブの重要性は増してきていると思われるが、単位老人クラブの会長が高齢化し十分に普及活動ができない状況下、地域の協力で普及活動を推進していただきたい。
11	全国健康保険協会新潟支部	住民に見やすく解りやすい広報を行い、「ながおかヘルシープラン21」の露出を多くし皆さんに積極的に取り組んでいただければと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・協会けんぽ新潟支部では、県内で約76万人の加入者、約4万の事業所に加入いただいている。 ・現在、加入者の皆さんの健康づくりに力をいれており、生活習慣病予防健診で特にメタボリックシンドロームの予防に力を入れている。 ・職場の健康づくりサポートとして、「にいがた健康経営宣言」で事業所の健康経営、従業員の方の健康づくりをサポートしている。 ・新潟県と連携して、健康立県の5つのテーマ「食生活」「運動」「デンタルケア」「たばこ」「早期発見・早期受診」に沿ったサポートを行っている。44種類の健康づくりポスターや、事業所単位で受けられる19種類の健康づくり講座、スマートフォンアプリを活用した事業所対抗ウォークラリーなど、事業所の健康課題に応じてご利用いただき健康づくり事業を進めている。

	所属	1 連絡会議の検討結果及び第2次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想	2 所属団体での健康づくりに関する取組内容や課題について
12	長岡地域振興局 健康福祉環境部 地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命延伸につながる施策を当部としても貴市と共に推進していきたいと考えている。 ・当部としては、働く世代への施策を重点的に推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代への働きかけとして、今年度は地域・職域連携推進協議会にて運輸業を対象に糖尿病対策をテーマに事業展開している。現在、運輸業を対象とした実態調査結果を分析中であり、その結果等を踏まえ効果的な施策を地域全体で進められるようPDCAサイクルに基づく事業展開を検討しているところである。

【アドバイザー】

		連絡会議の検討結果及び第2次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想
13	丸田アドバイザー	<p>・第2次計画重点取り組みの評価(様式1, 2)について、これまで積み上げてきた大変貴重なデータであるが、連絡会議検討結果の内容を見ると、データから読み取れる現状や考えられる要因についての視点が薄く、それらを踏まえた上での検討ができると良かったと感じた。今後の連絡会議の進め方について事務局に検討してほしい。</p> <p>⇒(回答)</p> <p>今回の連絡会議では、第3次計画の推進や関係機関との連携に向けた取組等の共有が目的であったため、課題について共有できたグループもありましたが、それを裏付けるデータの読取や検討までは及びませんでした。</p> <p>次年度からは、第3次計画の評価指標となるデータが集まってくるため、データから見えてくる現状やその要因について分野ごとに共有し、課題の整理を行ってまいります。</p>
14	太田アドバイザー	<p>【栄養・食生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世代の子どもたちは今後も増加すると思う。簡単な副菜の作り置きを紹介などは、機会があれば味見つきだと理解が進むと思う。睡眠時間を含め、子どもの生活全体をみる目線がよいと思った。 ・男性のボランティアや趣味の会のリーダー、自治会長などに男性の参加をお願いするなど男性のリーダーに協力を得ることが大事かと思う。 ・骨測定などによる健康の見える化、味見付きの指導も非常にわかりやすいと思う。地域の食支援のため食生活改善推進委員が増えてほしいと思う。 ・若い人の集客には若い人の多い場所、時間帯で行うのはどうか。スポーツ系のイベントと一緒にすると効果的かと思う。(親子イベントなど)。 ・料理教室と健康教室、例えば、簡単な食事を食べる+健康教室のような、実践+協議があると参加者が増え、学びにつながると思う。 <p>【身体活動・運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市はスポーツに力をいれている印象が強く、スポーツを盛り上げてくれている支援者も多いと感じる。これからも長岡市のアピールポイントの一つであってほしいと思う。 ・中学校の部活動がなくなった時間は、おそらくスマホやタブレットでの動画、ゲームの時間になり、心身の成長に大きなデメリットと感じている。学校の先生も交えて、無理のない範囲でできることはないか、ぜひ考えてほしいと思った。 ・親子の体操教室、子どもの体幹を強くする、バランス感覚を養うなど、目的をクリアにすると参加者が増えるのではと思った。 <p>【休養・睡眠、飲酒・喫煙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションケア(妊活前からのケア)として助産師と妊娠前セミナー(風疹ワクチン、歯の治療、禁煙、禁酒の理解等)開催も良い。 ・子育て支援グループと高齢者のボランティアとの一緒に活動も良い。コマ遊びや、かるた遊び、折り紙など昔の遊びを伝えるのも良い。

連絡会議の検討結果及び第 2 次計画の進捗状況調査結果に対する意見および感想

【歯・口腔】

- ・「かむちゃん事業」も非常に大事で、学校だけでなく、どの年齢層でも普段からしっかりと噛むこと、少し硬めのものを噛むことが大事であることをぜひ伝えてほしい。
- ・虫歯が多い人、未治療の人は、生活支援が必要な場合も多い。行政や社会福祉協議会等の相談窓口などにつなげる必要がある場合もある。
- ・歯周病の理解と予防法、フロスの使い方、歯科の定期受診の推奨なども大事になってきている。

【生活習慣病の発症予防・重症化予防】

- ・運送業の人への対策は難しいと思うが、非常に大事だと思う。ぜひ今されている活動を続けてほしいと思った。

※参考 動画「ドライバーの食生活と健康管理」(全 6 回)

シニアタクシードライバーのための健康管理ブック

【社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上】

- ・ままのまカフェ、高齢者のサークルなど、居心地のいい居場所づくりが社会とのつながりのために良いと言われている。自由に会話を楽しんでもらう中で友達づくりや、やりたいこと、必要と感じていることが見えてくると思う。

【誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備】

- ・なんでも相談窓口は、様々な問題のある人の入り口として非常に大事な事業となっていると思う。心のケア、ひきこもりグループもその他支援の必要な人が気軽に電話できるよう相談窓口の情報公開を多くしていく必要があると思う。いくつもの問題を抱えている場合もあり、行政内の横連携も大事になってくると思う。
- ・外出機会の減る冬の健康が心配。バスの巡回、雪かきなどの実施アピールをして冬の外出を促す活動もいるかと思う。
- ・地産地消推進店「ばくばくさんのお店」の活動も地域の旬の生鮮食品を買える店が増えてくるとは食環境の面からも非常に良いと思う。生鮮食品を使った惣菜なども忙しい家族の食のサポートになると思う。
- ・リチウムイオン、環境を地域で考える、災害対策などは直接健康につながらなくても地域の人と人の連携、環境づくりには大事だと感じる。人のつながり、社会とのつながりは健康格差の縮小、健康寿命を伸ばすことがわかってきている。

【関係課】

	所属	連絡会議の検討結果に対する意見・感想
1	福祉総務課	<p>・前回会議については、関係各課の取組みを伺える良い機会となった。ただ、当課が参加したテーマである「誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備」については、非常に幅が広いうえに、どこを目標にしたらよいか明確でないので、フリートーク中も手探り状態でグループワークを行っていた。</p> <p>このグループについては、もう少し具体的な目標を掲げたほうが同じ方向を向いて取り組めるような気がした。</p>
2	長寿はつらつ課	<p>・各項目の取組を見て、各項目を切り離すことはできず、全てつながっていると改めて感じた。同様に、「高齢者」「女性」「青年期・壮年期」「こども」も同じように関連性があるので、緩やかに繋がれたらと思う。</p> <p>・長岡市の自殺者について、高齢者の女性に多いことやサービス導入期にも多いと聞いていることから、サービス利用に関する情報提供や啓発、社会全体で支え合う地域づくりに取り組んでいきたいと思う。</p>
3	スポーツ振興課	<p>・多世代の運動、健康づくり活動の視点としてスポーツ分野にもICTを活用した個人単位の取組推進を強調していくことが必要であると感じる。行政が入口のきっかけを与えることで精一杯になる今後の状況を懸念しており、民間も参入連携しやすいよう、集合参加型以外のメニュー提供方法を検討していきたい。</p>
4	子ども・子育て課	<p>・全ての分野に共通して、職域層への関りが重要だと感じる。</p> <p>・幼少期、学童期は規則正しい生活や望ましい食習慣を概ね遂行できているが、働き盛りの世代で崩れ、生活習慣病を発症するケースが散見するように感じている。</p> <p>・【休養・睡眠、飲酒・喫煙】で紹介された助産師会の取組みについて 長岡市は、宿泊型の産後ケア事業を小千谷総合病院へ委託している。助産師会が提案するアウトリーチ型の産後ケアについては、市民のニーズを聞き取ったうえで検討する予定。</p>
5	南部地域事務所	<p>【身体活動・運動について】</p> <p>・課題にもあるように中学生の部活動が地域移行することで運動習慣の減少、それぞれの家庭の事情により運動習慣の場を与えられる与えられない健康格差が出てくることが目に見える。子ども達の運動(スポーツ)することへの興味も薄れてくるのではないか。</p> <p>・働き盛りの男性は、民間のスポーツジムで個々に運動している人が多いと感じている。スポーツジムの平日の夜は男性の利用が圧倒的に多い。それぞれの生活スタイルに合わせて個々のできる運動に取り組んでいることは良いことだと思う。その結果が一人一人の健康意識の向上、生活習慣病予防に繋がると思う。</p>

	所属	連絡会議の検討結果に対する意見・感想
6	北部地域事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・北部地域でも、地区で健康に関する講座を実施しても、人が集まらなかったり参加者が固定化している。周知方法や講座内容等に工夫が必要だと改めて思った。 ・健診未受診者勧奨やレセプトからの対象者抽出など事業が充実してきたことにより、フォローできる対象が増え、少しずつではあるが重症化予防の目標につながっていると思う。 ・基本方針2:主体的な多世代健康づくりの広がり(社会環境の質の向上)について、そうなればよい(ありがたい姿)が、特に支所地域においては過疎化等により、逆の方向に進んでいる印象がつよい。一層の多機関の協働やアイデアが必要かと思う。 ・こころの健康と言う点では、地域で、情緒面、発達面で問題を抱えている子が増えているように感じている。子ども達は、親や大人、家庭、地域などの環境の影響を大きく受けており、大人のこころの健康づくりと同時に、子どものこころを育むことを重視する必要があると感じる。
7	中之島支所地域 振興・市民生活課	<ul style="list-style-type: none"> ・今回第1回ということで、それぞれのグループから現在の活動や課題の発表で終わってしまったが、今後はヘルシープランに掲げた課題について、各機関何ができるのか具体策を検討できるとよい。